

♪調布初の力士「^{きみかぜ}皇風関」誕生！！

7月10日から行われた平成23年大相撲名古屋場所で幕下全勝優勝をされ、7月27日の番付編成会議で十両昇進が決まりました。

正真正銘の関取の誕生です。お父様も調布出身の生粋の調布っ子。本名直江俊司君は、八雲台小学校4年生の時行われたJC主催の『わんぱく相撲調布場所』で優勝したのがきっかけで府中の道場に通い、相撲を習い始めました。

8月24日(水)グリーンホール小ホールで、後援会設立総会が開かれ後援会から化粧まわしが贈呈されました。その後、関取昇進祝勝会が開催されました。調布の多くの名士が集い、活気に溢れていました。

9月場所(9月11日～25日、両国国技館にて)から、『東京都調布市出身尾車部屋』と行司の呼び声を聞くことができます。是非横綱を目指して、頑張ってください～い！



インタビューの合間にくつろぐ皇風関
(自宅にて)

♪墨絵作者紹介

毎号墨絵を描いてくださっているのは、布田2丁目の旧甲州街道沿いで、「かごや」の屋号で竹細工製品を作って売っていた高橋政吉さんのお嬢さんの高橋弘子さんです。墨絵は、8年前から習い始めて、今はご近所の方に教えていらっしゃるそうです。

高橋さんのお父さんは、郷土博物館ができた年に、調布市から籠作りで、「この道50年」の第1回表彰を受けていらっしゃる。当時、人を乗せる「お籠」を作って郷土博物館に寄贈されたそうです。表彰された時の写真やメダル、表彰状をいまも大事に弘子さんが保管しているそうです。(そら)



♪京王線100年史に因んで郷土博物館主催の「旧京王線路探索会」同行取材

炎天下の8月6日、旧線路跡をたどる会に取材として参加しました。10:30に仙川を出発しお昼をはさんで16時ころ調布で解散するまで、今は家の庭だったり駐車場だったり、当時の路線をまっすぐ追えるわけではなく、地道な調査に基づいた馬部さんの解説をききながら、想像力による再現の旅でした。参加者は子どもと大人がまじり合い、子どもたちは「運転手になりたい！」も含めて電車好き、大人は史実の仮定を議論して楽しむような方々、と動機は大きくふたつくらいでしたでしょうか。私は調布はまだ一年なので、馬部さんのいつも穏やかな表情によるお話をききながら、調布がすこし身近になったお散歩でした。

国領駅というか北浦駅と命名するかのせめぎあいや、仙川駅周辺に田んぼを行き来するための橋を何本もかけさせたことなど、京王線がどのように地元の地主や農民たちと関わっていたかが浮かんできて、国鉄とはまた違う歴史をつくっているのだろうな、なんて思いました。(のん)

★ご意見・ご感想をお寄せください！！

★大募集◎番組制作メンバー◎運営メンバー◎会員・賛助会員・法人会員

◎資金・場所などを支援くださる方 等々

♪FC 東京応援記(8月): 戦上手は、動くときは勢いに乗り、攻めるときは集中して攻める。

8/13(土)、蒸し暑い盛夏の宵、5月にアウェイで惜敗したザスパ草津を味スタに迎えての熱い(暑い)戦いであった。リーグ戦は、大震災の影響でのスケジュール変更などあり、変則的だが、20試合目、ここから実質、後半戦に突入だ。立ち上がりの敵のカウンター攻撃を塩田選手の好セーブで止めたシーン以外は全体的にほとんどピンチもなく、勝ち点3を積み上げ首位を守った、ということで、まずはめでたしめでたし。しかし、待てよ。圧倒的に押し回して、シュート20本、コーナーキック11本、直接フリーキック18本も打って、PKの一点のみとは、手放しでは喜べない。シュートは何本打とうが、枠に行かなければ入らない。セットプレイはどのような戦略的イメージを持って蹴っているのか、受け手との呼吸も合わず、ただ、何気なく上げている感じ。30本近く打って、“惜しい!”、というシーンがほとんどなかったような気がする。あの、女子W杯決勝戦での宮間、澤コンビを思い出して欲しい。“ニアの速いボールに合わせて飛び込む”作戦を見事に完遂した。これほど見事に決まらないまでも、ターゲットとおとりの役割の徹底など、さらに精度を高めて欲しい。

試合後、敵のファウルでPKをゲットした谷澤選手も言っている。“PKだけの得点では満足していない。もっとパスをつないで、崩して点を取るような戦いがしたい”、と。ぜひ、そのような戦いを見たい。さて、次節は、8月21日(日)アウェイで現在4位の栃木SCとの対戦、首位固めに邁進しよう。

(調布のヨーコ 8/20)

♪調布よさこい2011 顛末記 (8/28)

8月28日(日)に J:COM ショップのサテライトスタジオに「調布わくわくステーション」の担当メンバー6人とサポートの男性メンバー2人が集結した。調布FMが企画した「調布よさこい特別番組」の実況生中継をするために！ インタビュー番組を始めて9年、そこそこ実績は積み重ねてきたがライブは初めて！しかも3時間。不安の中にも気炎を上げてそれぞれの持ち場、「ハッピーまつり会場」、「布多天神社会場」「蓮慶寺前参道会場」「上布田ご縁の市会場」そして「サテライトブース」でスタンバイ。13時00分、FMのディレクターのキューサインでオンエア。

賑やかな現場中継をハイテンションでレポートするメンバー達。短期間でも、特訓の成果か、はたまた熟女の度胸勝ちか「案ずるより……。」であった。

問題は、サテライトブースの筆者、言葉をかむは、「カフ」の操作の「ON」、「OFF」を忘れてたりして、冷や汗の続出。生中継と言う思いがけない経験に学ぶことは沢山あった。終了後、サテライトスタジオに集合したメンバーは、失敗談を口にしながらも安堵の笑顔で、3時間のライブを素人集団に任せた調布FMの賭けと、何とか無事に終わった充実感とに缶ビールで乾杯した。

(romi)

♪耳寄りなお話

舞台版『ゲゲゲの女房』

日時:9月29日(木)~10月7日(金)

場所:シアタークリエ

主演:水野美紀/渡辺徹

<http://www.tohostage.com/gegege/index.html>

第3回 セプテMBERコンサートJP 2011 in 調布

日時:平成23年 9月 10日(土)

場所:布多天神社

主催:NPO法人 国境なき楽団

セプテMBERコンサートJP

連絡先:セプテMBERコンサート

JP調布支部(Belly Love)

090-8178-1310



【こんなご協力をいただいております】

機材:(株)アークシステム マイクロホン:アツデン(株) カメラ:(株)StudioDU

サーバー:電気通信大学、(株)アニー その他多くの方にご協力を頂いております。

その他多くの方にご協力を頂いております。ご協力に感謝申し上げます。

♪ 隠居のひと一言：喫煙は「百害あって一利なし」

先日、久しぶりに国領のイトーヨーカドーへ行った時のこと。ちょうど食事時間になったので、3階のレストランに入った。ここは、本格的でない(?)和・洋・中のメニューが少しずつ用意されているから、嗜好が異なる仲間との食事には便利だ。さらに、ここの特徴の一つに、完全分煙室がある。硝子戸で隔離された向こう側の狭いスペースがそれだ。この日、ここで、やたら、茶髪につけま+ネイルアートが目立つ2人のヤングママと3人の幼児がひとつのテーブルを囲み食事をしていた。見るとはなしに眺めていたら、喫煙のペースが速い。我々が着席する前から食事をしていて、食べ終わって会計する時に、まだまだ、煙草を吸いながらおしゃべりしていた。この間、目撃した範囲で一人3本ずつ吸っていた模様。もちろん、換気装置は機能しているのだろうが、室内はかなり煙っている印象。

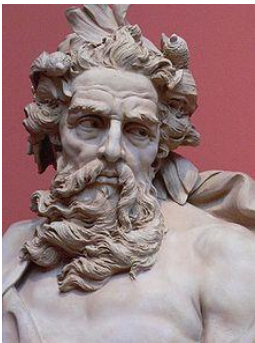
成人喫煙率(厚生労働省国民健康栄養調査)によると、女性の喫煙率は平均 9.1%で、20 歳代が 14.3%、30 歳代が 18.0%と若年層で高い値を示している。この2人のママもこの中に入るのだろう。自分ではタバコを吸わないのに、そばで吸っている人の煙を吸わされている状態、すなわち「受動喫煙」では、健康被害は深刻で、特に子どもは健康被害を受けやすいと言われている。ことに呼吸器系への影響は大きく、急性気管支炎や肺炎、喘息などを起こして発作の回数を増やす原因にもなるようだ。また、このような環境で育てられた子どもは成長の過程で重いニコチン依存症に陥りやすく、ヘビースモーカーになりやすくなり、タバコをやめることが困難になるばかりか、たとえ喫煙量が同じであっても成人後にはじめた喫煙よりも、がんや心筋梗塞の深刻なリスクを生む、との報告もある。

この2人もそうだが、最近のお母さん(ヤング・ママ)はきれいになった。スリムなボディを流行のファッションで包み、髪もおしゃれで化粧も垢ぬけている。このような重装備の支度をしているときに幼子はどうしているのだろうか? 食事も、子どもより自分優先で決めているような気がしてならない。過保護ママの対極か?? “子どもは未来の宝物”を、決して忘れまい。(調布のご隠居)

♪ 神話

東日本大震災の福島原発事故以来、新聞や週刊誌などマスメディアは“安全神話の崩壊”などと声高に報じている。これは国民が国によって絶対安全だと信じ込まされた事が裏切られたのだ、と言う意味で報じている。しかし安全神話とはどういう事なのか、ネットで紐解いてみると、「確実な証拠や裏付けがないにもかかわらず、絶対に安全だと信じられている事柄」と書いてある。ならば信じた国民が愚かだと言っているに等しい。

となると腹立たしい限りだが、気を取り直して神話とはどういう物か、と考えると神(超自然的存在)を英雄や巨大な怪物等と関連させて説く説話であるから荒唐無稽であり信じる信じないは聞かされた人間次第だと言う事になる。元々古代の人間が創造した説話だから、超宇宙的、超自然的説話であっても科学が発達した現代では信じる人間は子どもですら居ない。そして日本神話にしろ、ギリシャ神話にしろ書物を読んだり疑似絵を見たりするとそれなりに面白い。しかし原発事故は今眼前にある脅威と不安である事は疑いもない事実であるから“安全神話の崩壊”などと軽々しく言うて欲しくない(オキータ)



<調布市民放送局ニュースが手に入ります>

- ◆図書館(本館、分館) ◆教育会館 ◆調布 FM ◆調布市商工会館 ◆調布市総合福祉センター
- ◆深大寺 ◆市民活動支援センター ◆居酒屋『淡菜房』 ◆ジェイコムショップ ◆INNO ◆エリゾー

2011年9月 番組表

＜調布市民放送局の番組を見ることができます＞

- ◆ 姉妹都市木島平村のケーブルテレビ「ふう太ネット」
- ◆ 調布市観光案内所『ぬくもりステーション』（一部番組のみ）



調布 C A T C H J:COMにて放送 (放送日時の変更有り)

月	火	水	木	金	土	日
11:05 18:55	11:05 18:55	11:05 18:55	11:05 18:55	11:05 18:55	11:15 18:55	11:15 18:55

テレビ番組

1日	①「アラブイスラーム学院～体験学習会～」 今回で9回目を迎えた学院訪問。あまり馴染みのない異文化の体験に参加者は最後まで真剣に体験学習をしました。	
15日	②「京王 100 年史と旧線路」 仙川から調布までを 100 年前に思いを馳せ、旧線路跡を散策しました。	
16日	①「宇宙カボチャ」 3月17日に石原小学校で植えつけた「宇宙カボチャ」が実りました。8月31日に収穫です。	
31日	②皇風(きみかぜ)関調布後援会発会式 及び十両昇進、幕下全勝優勝祝賀会 後援会総会と祝賀会の模様をお伝えします。 調布初の力士を調布市民全員で応援したいですね。	

ラジオ番組

調布わくわくステーション(略称 わくステ)

調布FMにて放送 <83.8MHz> 毎週火曜日 21:30~21:45

6日	岸野 龍雄 さん (ハーモニカ講師)	退職後、本格的にハーモニカを始め、81歳で日本ハーモニカ芸術協会のグレード試験を受け、講師の資格を得た岸野さん。哀愁を帯びた素敵な演奏もどうぞお楽しみ下さい。
13日	直江 俊司 さん (皇風関)	調布初の大関誕生。幕下全勝優勝で十両に昇進し、後援会も発足しました。調布の期待の星、皇風関に、どんな子ども時代を過ごしたのかなど、お話を伺います。これからの活躍が楽しみです。
20日	六名 泰子 さん (パティシエ)	仙川のパティスリーシャトンというケーキ屋さんのオーナー。二階にあるこのお店はリピーターが多く、至福の時間が過ごせるそうです。飽きのこないおいしさの秘密を、伺うことができましたよ。
27日	元木 輝昌 さん (社会福祉協議会会長)	調布市社会福祉協議会の福祉大会が来月行われます。今年で40周年を迎えるこの大会の事を始め、“調布の福祉”について、色々なお話を伺います。困ったら社会福祉協議会へどうぞ！

HP インターネットで、いつでもすべての番組を見ること・聴くことができます。
<http://chofu-catch.sakura.ne.jp> 調布市民放送局 検索

【編集後記】 私達の番組をみていただきたい。その思いから番組表を作ることになりました。取材中に得られたとても貴重で楽しい情報もお伝えしたいと、『こぼれ話』を書くことになりました。色々な世代の方にも見ていただきたいとニュースを発行する事になりました。最初は、A4 片面から始めましたが、現在では A3 両面、最初の4倍の情報量になりました。日々進化しております。新しいアイデアを入れ、もっともっと発展する事を願って、ここで編集長を交代します。新編集長に乞うご期待！（まりっぺ）

【編集・発行】調布市民放送局 catch@chofu-catch.sakura.ne.jp